

## 除雪利用も対応 自走式荷役機

三陽機器が開発

農機メーカーの三陽機

器(岡山県里庄町、寺前公平社長)は新しい自走式荷役運搬機械を開発した。無段変速のクローラ(無限軌道)を採用、重心が低いコンパクトな設計で、狭い場所や不整地でも使いやすいのが特徴。アームはショックやねじれに強くとされる、断面が楕円(だえん)形のものを採用している。農作業のほか、降雪地帯での駐車場や歩道の除雪作業への利用を見込んでいる。

「JL280」の名称で販売する。価格は消費税込みで通常クローラ仕様が百四十七万円、除雪クローラ仕様は百五十二万二千五百円。当初の一年間は関東以北を中心に百台の販売を目標とする。